テーマ：看護実践力を身につけるための技術教育
～基礎教育から卒後教育へつなぐ～

◆カテゴリー：①教育課程

◆学校概要　社会医療法人愛生会 愛生会看護専門学校
所在地：愛知県名古屋市北区五反田町 110-1
3 年課程 1 学年定員 30 人 修業年限 3 年



本校は「地域とともに、人と共に」の心を大切にし、地域の救急医療から在宅支援まで、安心で安全な医療を地域に貢献できる看護師を育成することを使命とし、昭和 62 年に開設しました。ディプロマポリシーである「基礎的な看護実践力を身につけた人」となれるよう、カリキュラムポリシーには、「看護技術マイスター制度を活用し、看護技術を身につける」「ともに学ぶ仲間をつくる」をあげ、アクティブラーニングを取り入れた看護技術教育を設計。卒業前には客観的臨床能力試験（OSCE）で看護実践力の評価をしました。

1 年生



1 年次には日常生活援助技術や症状・生体機能を観察するフィジカルアセスメントの科目で基本的な看護技術を学びます。動画や教員のデモンストレーションよりも、看護技術マイスター取得者（上級生）の看護技術を観ることのほうがワクワクしながら学べるようです

2 年生

上級生の技術を見て、看護技術マイスター取得に向けて自主的に看護技術を練習します。



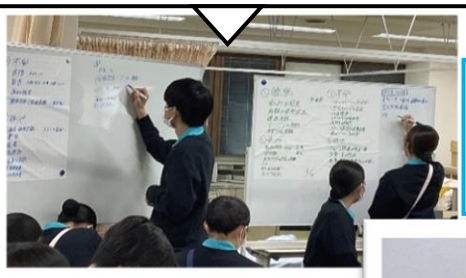


マイスター取得者は袖にワッペンがつく

【臨床判断の授業】



2 年次には基本的な看護技術を活用して、患者の状況に合わせて看護実践をするためのシミュレーション教育を行っています。リアルな患者の反応から何に気づき、どう解釈し反応したか意見を出し合い、学び合いをしています。



教員が模擬患者を演じています。シナリオは直腸がん StageⅡ（Miles 手術+D3 郭清）術後 6 日目の患者の援助

3 年生

【看護技術の総仕上げの授業】



録画した動画を見ながらリフレクション。看護実践の課題が明確になります。



卒業前に客観的臨床能力試験（OSCE）を実施します。

看護技術力を高めれば、自信をもって対象者に提供でき、それが小さな成功体験となり、更なる学びに繋がります。本校では臨地実習で必ず実践する項目を抜粋し、学内で教員が技術チェックを行い、合格者に「技術マイスター」の称号を与え称えています。上級生の技術に憧れ、繰り返し練習し、何度も技術チェックが不合格になってもチャレンジし、やっとの思いで取得したマイスター称号は、学生たちの大きな自信につながります。授業ではシミュレーション教育を通して「看護師の思考」を学びます。その後の臨地実習では、その時その場の状況で判断し看護実践する難しさを体験してきます。卒業直前に実施した OSCE では、自分の看護実践力の強み、弱みや到達状況が可視化されました。リフレクションを通し真摯に学ぶ学生の姿に 3 年間の成長を感じました。卒業後も継続して看護実践力が上がるよう法人内事業所の看護部と連携して、学生（卒業生）に寄り添った教育支援をしています。